
君を想いながら

R A N

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

君を想いながら

【Nコード】

N2430T

【作者名】

RAN

【あらすじ】

ドラゴンクエスト4の勇者×シンシア。
旅立ったばかりの頃。

サイト、dノベ転載

シンシア、俺の力が足りないばかりに、君を犠牲にしてしまった。
あの頃は、ただ楽しく時が過ぎていくばかりで、こんな風になる
とは思わなかったんだ。

あの時だって。

未だに俺は、あの時君を行かせたことを後悔している。
なぜ止めることができなかったのか。

あの時の俺は何も知らなかった。

知らなかったからこそ、君に背負わせてしまったんだ。

なぜ俺が勇者と言われるのか、未だに納得いかない。

だって、勇者っていうのは後からくる称号だろう？

なぜ村のみんなは俺を勇者と呼び、守ろうとしたんだろう。

それは運命なのか。

運命って何なんだ。

俺の疑問は尽きない。

だけど、君が守り抜いたから。

君が命をかけて守ったそれだから。

俺は君のために世界を救う。

それが、君のためにできるただ一つのこと。

俺はそのために、この命をかける。

それが、運命だったとしても、世界中に喜ばれることだったとし

ても、世界中を不幸にすることだったとしても。

俺は君が大事にしてきたものを守る。

ただ、それだけのこと。

シンシア、どうか俺を見守っていてくれ。

俺も、君が守ってきた役目を終えたら、君のところへ行けるのかな。

今こうして旅をしてるけど。

たまにとつともなく君に会いたくなる時があるんだよ。

いや、いつも思ってる。

君がいてくれたなら、と思うこともある。

でも、俺は君のために戦うよ。

君が笑顔で俺を迎え入れてくれるように。

早く、君に会いたい。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2430t/>

君を想いながら

2011年5月31日12時37分発行